



NO 7

令和6年8月9日

文責：喜多三郎

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』

島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

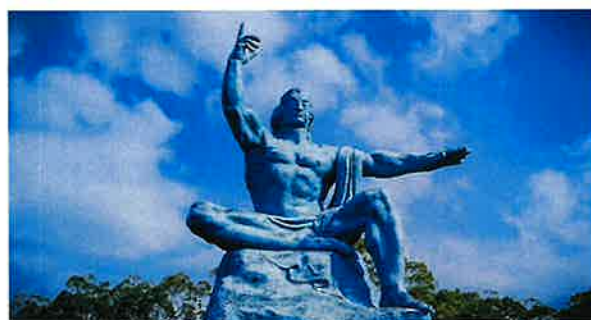
○ 残暑お見舞い申し上げます

「立秋」を過ぎ、秋の気配を感じるどころかまだまだ猛暑の日が続いています。いかがお過ごしでしょうか。熱中症等には、十分に気をつけたいものです。あわせて、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ等にも、引き続き気を緩めることなく感染予防を施していかなければなりません。

さて、8月9日は、全校登校日でした。子どもたちは、いつものように元気に登校してきました。しばらくの間に日焼けをし、体もひとまわり大きくなったように感じます。毎日暑いですが、平和で当たり前の生活に感謝です。このような中、日本の夏は慰霊の夏でもあります。79年前の1945年8月9日、長崎市に原子爆弾が投下され、たくさんの方々がお亡くなりになりました。8月9日は「長崎原爆の日、県民祈りの日、ながさき平和の日」です。学校では平和集会をとおして、戦争の悲惨さや平和の尊さ、大切さ等について学習を行いました。

1945（昭和20）年の第二次世界大戦末期にはたくさんの犠牲がありました。

- ・ 3月10日 東京大空襲 約8万4千人
- ・ 4月1日から7月2日 沖縄地上戦 約20万人
- ・ 6月28日から29日 佐世保大空襲 1242人
- ・ 8月6日 広島市に原爆爆弾 約14万人
- ・ 8月9日 長崎市に原子爆弾 約7万人
- ・ 8月15日 終戦



※この他にも、戦争のために長年にわたり、日本の内外で尊い命が犠牲となりました。79年経った今でも、戦争のために苦しんでいらっしゃる方々が、たくさんいらっしゃいます。それなのに、現在でも世界中では、戦争を行っている国々や長きに渡り内戦・内乱が続いている国々があります。本当に悲しいことです。

○ 平和集会（リモート）

〈目的〉

- ・ 戦争体験を語り伝え、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ばせる。
- ・ 平和な世界を築いていくためにはどうしたらよいかを考え、みんなで力を合わせて努力しようとする態度を育てる。

〈内容〉

- ・ はじめの言葉（集会委員会）
- ・ 校長の話
- ・ 平和の紙芝居（デジタル）
「瞳の中の子供たち」
- ・ 折り鶴の引き渡し式（運営委員会⇒4年生へ）
- ・ 歌『青い空は』
- ・ 終わりの言葉

笑顔いっぱい、ひとみ輝く島五小

みんなちがって みんなすばらしい！

※平和であることの大切さ、平和って
どんなこと？

【夏休み後半も】

- 気をつけよう熱中症 守ろう交通安全！
- 引き続き気を緩めない感染症予防
- 命を大切に、命を守る行動をしましょう。